



Kawi

K. R. ラビンドラン
2015・16年度国際ロータリー会長



No.10

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“ロータリーをもっと知ろう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 友愛奉仕活動を見直そう
- ③ 地区を知ろう

例会記録 (2015. 9. 11 (金)) 通算3,049回

高砂プロバスクラブとの合同例会

- ◆開会
- ◆唱歌 ロータリーソング「我等の生業」
- ◆「四つのテスト」唱和
- ◆歓迎歌 「松の緑」



◆プログラム予定

9月18日 (金)	9月25日 (金)	10月2日 (金)	10月9日 (金)
高砂青松RCとの合同例会 (ウェディングパレス鹿島殿) 「世界に通じる人材育成 真の国際人 嘉納治五郎と灘校の教育」 灘中学校・高等学校 校長 和田孫博先生	休会 (定款第6条第1節(C)による)	卓話 米山記念奨学生 ラウンピタクサ チョンニカーン様	休会 (定款第6条第1節(C)による)

◆出席報告

本日 9月11日 会員数42名 出席者27名 出席率 69.20%
前々回 8月28日 会員数42名 修正出席者42名 出席率100.00%修正
8月度 平均出席率100.00%

◆MAKE-UP

脇谷 政孝会員	高砂青松RC	9月 9日 (9月11日)
後藤 宗久会員	高砂青松RC	9月 9日 (9月 4日)
桂田 重信会員	e-CLUB	9月 8日 (9月11日)
丸山 恵右会員	e-CLUB	9月 8日 (9月11日)
大久保義郎会員	e-CLUB	9月 7日 (9月11日)
増田 章吾会員	e-CLUB	9月 4日 (9月 3日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

佐野 敏晴会長……高砂プロバスクラブの皆様ようこそお越し下さいました。上田会長、
本日の卓話よろしくお願ひします。

福島 弥一会員……誕生日の祝を頂きありがとうございます。

坂手 優会員 (高砂プロバスクラブ) ……山川会員をよろしく。

山名 克典会員……プロバスクラブの上田会長をはじめ会員の皆様をおむかえして。

◆幹事報告 (3,049回)

※例会変更のお知らせ

◎姫路RC

9月22日(火) → 休会

◎加古川中央RC

10月15日(木) → 18:00～

3クラブ合同例会

於：加古川プラザホテル

11月 5日(木) → 10月31日(土)～11月1日(日) 親睦旅行

於：長島・伊勢方面

◎高砂青松RC

10月14日(水) → 休会

〈その他〉

◎第63回『手足の不自由な子どもを育てる運動』について案内が届いております。

◎国際ソロプチミストよりご挨拶が届いております。



後藤純次幹事

◆会長の時間

本日は、プロバスクラブとの合同例会です。本年度の社会奉仕委員会の事業計画には「プロバスクラブとの交流」としてあがっています。森本社会奉仕委員長、坂井プログラム委員長のお骨おりにより本年度は、このプロバスクラブとの合同例会が開催されました。どうもごくろうさまでした。また、プロバスクラブの会員の皆さまには上田会長様はじめ本日の合同例会にご参加いただきありがとうございます。皆さま、ご存じかと思いますがプロバスクラブについて少し説明させていただきます。プロバスクラブとは、1960年代イギリスで誕生したロータリークラブ支援の高齢者のクラブです。具体的には、月1回の定例会を持つ、非政治的、非営利的、非派閥的な60才もしくは、65才以上の意欲ある、活力ある人たちにより構成されているクラブであると言われています。

高砂プロバスクラブは、平成11年12月16日に設立総会が開催されました。平成11年～12年の会長であった、故長谷川会長より社会奉仕委員会にプロバスクラブ設立についての活動を開始するようとの方針が示されました。設立目標は創立50周年の年の平成15年に合わせてということでしたが、当時の社会奉仕委員長の山名会員のパワーであつという間のその年の12月に設立されたのを覚えています。以後、高砂ロータリークラブの〇周年事業、IM等には参加していただいておりますが、皆さまご存じのように日ごろの交流がほとんどないのが現状です。本年度は、先ほど申しあげましたが、プロバスクラブとの交流会として合同例会を設営していただきました。次年度以降も継続できればと思います。また、7月に会長就任のあいさつに伺った際に、会員が減少しているので入会される方があれば紹介して頂きたいと言われていました。プロバスクラブは月1回の例会ですのでどなたかいい人があればご紹介お願いいたします。本日は、上田会長様に卓話をお願いしておりますどうかよろしくお願いいたします。



佐野敏晴会長

◆本日のプログラム

◎高砂プロバスクラブとの合同例会「高砂町について」



森本幸吉 社会奉仕委員長



高砂プロバスクラブ会長 上田俊昭様

1. 高砂町の今

- (1) 周辺地域の開発と旧町内の昔ながらの町並み
- (2) 高齢者のまち（高齢化率市内で一番）

2. サンモールから西友が撤退

- (1) サンモールの誕生と町内の商業者の対応
- (2) 老舗主人のつぶやき
- (3) まぼろしの「駅前再開発計画」
- (4) 歴史は繰り返されるのか

3. 高砂町の昔（江戸時代以降の変遷）

- (1) 城づくりと廃城後の町づくり
- (2) 加古川舟運による高砂町の繁栄
- (3) 鉄道敷設の拒否と舟運の衰退による舟運業者、商業者の没落に伴う高砂町の変ぼう
- (4) 工場進出に伴う働く者の町に衣替
工場、住宅、商店街、娯楽施設etc.
- (5) 生活様式の激変への対応策なし
 - ①西畑等周辺地域の開発はあったものの
旧町内は昔ながらの町並、現代社会に対応出来ない家
 - ②若者の市外流出に伴う活気乏しい高齢者の町

4. 少しずつみえる未来への対応

- (1) 町おこし活動の萌芽
 - ①拠点づくり 高砂屋、高砂きてみんか（入江家）
 - ②空家を活用した活動（喫茶、工房etc.）
 - ③各種イベントの開催（ごはん市、万灯祭他）
- (2) 実践していこう「住民の住民による住民のための町づくり」